

○保育士B 専門試験問題例

問1 保育所保育指針第1章総則に関する次の記述について、(1)～(10)にあてはまる語句を下記の語句群から選び、記号で答えなさい。なお、()に同じ数字が記載されている場合は、同じ語句があてはまる。

- A 保育における養護とは、子どもの生命の保持及び情緒の安定を図るために保育士等が行う(1)や関わりであり、保育所における保育は、養護及び教育を(2)に行うことをその特性とするものである。
- B 家庭との連携を密にし、嘱託医等との連携を図りながら、子どもの疾病や(3)に関する認識を深め、保健的で安全な(4)の維持及び向上に努める。
- C 清潔で安全な環境を整え、適切な援助や(5)な関わりを通して子どもの生理的欲求を満たしていく。また、家庭と協力しながら、子どもの(6)等に応じた適切な生活のリズムがつくられていくようにする。
- D 一人一人の子どもの気持ちを受容し、共感しながら、子どもとの(7)な信頼関係を築いていく。
- E 保育士等との信頼関係を基盤に、一人一人の子どもが(8)に活動し、自発性や(9)などを高めるとともに、自分への自信をもつことができるよう成長の過程を見守り、適切に働きかける。
- F 一人一人の子どもの生活のリズム、(6)、保育時間などに応じて、(10)のバランスや調和を図りながら、適切な食事や休息が取れるようにする。

【語句群】

ア. 総合的	イ. 発達過程	ウ. 事故防止	エ. 一体的	オ. 遊び
カ. 健康状態	キ. 探索意欲	ク. 応答的	ケ. 活動内容	コ. 親密
サ. 主体的	シ. 積極性	ス. 援助	セ. 継続的	ソ. 保育環境

問2 次のA～Eの文章の下線部分について、正しいものには「○」を、間違っているものには「×」を正誤欄に記入し、「×」の場合は下線部分の正しい記述を記入しなさい。

- A 保育所は、保育を必要とする子どもの保育を行い、その健全な心身の発達を図ることを目的とする児童養護施設である。
- B 虐待の種類の中で、児童の心身の正常な発達を妨げるような著しい減食や長時間の放置、その他の保護者としての監護を著しく怠ることを心理的虐待という。
- C 学習障害(LD)は、基本的には全般的な知的発達の遅れはないが、聞く、話す、読む、書く、計算する又は推論する能力のうち特定のものの習得と使用に著しい困難を示す様々な状態を指す。
- D 「児童憲章」には、全て児童は、児童の権利に関する条約の精神にのっとり、適切に養育されること、その他の福祉を等しく保障される権利を有することが明記されている。
- E 子どもの死亡原因の中には、健康状態および既往歴からその死亡が予測できず、しかも死亡状況調査および解剖検査によってもその原因が同定されないアナフィラキシーショックがある。

問3 保育所保育指針に関する次のA～Fの記述について、正しいものには「○」を、間違っているものには「×」を記入しなさい。

- A 「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」は、乳幼児期にふさわしい生活や遊びを積み重ねることにより、保育所保育において育みたい資質・能力が育まれている子どもの具体的な姿である。
- B 「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」は、到達すべき目標として保育を進めることが大切である。
- C 保育所から就学先となる小学校へ、子どもの育ちを支える資料を「保育所生活記録」として送付する。
- D 小学校に送付する子どもの育ちを支えるための資料は、個人情報書類なので保護者にも秘密にし、配慮の必要な家庭環境も記録し、支援が継続できるようにする。
- E 保育所保育と小学校教育の円滑な接続を図るため、小学校の教師との意見交換や合同の研究会や研修会、保育参観や授業参観などを通じて連携を図るようにすることが大切である。
- F 「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」の一つに協同性があり、「友達と関わる中で、互いの思いや考えなどを共有し、共通の目的の実現に向けて、考えたり、工夫したり、協力したりし、充実感をもってやり遂げるようになる」ことを指す。

問4 保育所保育指針第5章職員の資質向上に関する次の記述について、(A) ～ (E) にあてはまる語句の正しい組合せを一つ選び、番号で答えなさい。

保育所においては、保育の内容等に関する(A)等を通じて把握した、保育の質の向上に向けた課題に(B)に対応するため、保育内容の改善や保育士等の役割分担の見直し等に取り組むとともに、それぞれの(C)や(D)等に応じて、各職員が必要な知識及び(E)を身につけられるよう努めなければならない。

	A	B	C	D	E
①	自己評価	組織的	職位	仕事内容	技術
②	自主研修	組織的	能力	仕事内容	技術
③	自己評価	柔軟	能力	職務内容	技術
④	自主研修	柔軟	能力	仕事内容	技能
⑤	自己評価	組織的	職位	職務内容	技能

問5 保育所保育指針第2章保育の内容に関する次の①～⑩の記述について、「1歳以上3歳未満児」の発達の特徴を踏まえ、5領域(「健康」「人間関係」「環境」「言葉」「表現」)に分類し、番号で答えなさい。

- ① 保育士等の受容的・応答的な関わりの中で、欲求を適切に満たし、安定感をもって過ごす。
- ② 保育士等の愛情豊かな受容の下で、安定感をもって生活をする。
- ③ 絵本や紙芝居を楽しみ、簡単な言葉を繰り返したり、模倣をしたりして遊ぶ。
- ④ 安全で活動しやすい環境での探索活動等を通して、見る、聞く、触れる、嗅ぐ、味わうなどの感覚の働きを豊かにする。
- ⑤ 身近な生き物に気付き、親しみをもつ。
- ⑥ 保育士等を仲立ちとして、生活や遊びの中で友達との言葉のやり取りを楽しむ。
- ⑦ 保育士等からの話や、生活や遊びの中での出来事を通して、イメージを豊かにする。
- ⑧ 生活の中で様々な音、形、色、手触り、動き、味、香りなどに気付いたり、感じたりして楽しむ。
- ⑨ 保育所の生活の仕方に慣れ、きまりがあることや、その大切さに気付く。
- ⑩ 身の回りを清潔に保つ心地よさを感じ、その習慣が少しずつ身に付く。

問6 5歳児クラスに外国籍のAちゃんが入所してきた。Aちゃんは日本語が通じません。担任であるあなたは、今後、Aちゃんを含めどのように保育を進めていきますか。あなたの考えを述べなさい。

問7 新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策として避けるべき「3密」について説明するとともに、保育所において「3密」を避けるために、どのような対策を行うことが必要か。それぞれ述べなさい。

問8 保育所での子育て支援の一つとして、保護者からの育児相談があげられるが、相談を受けるにあたっての心構えと対応のあり方について、あなたの考えを述べなさい。(800字程度)